




# 2020年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

## 事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【北九州市】

学校名【北九州市立 大原小学校】

1 実践テーマ	I・II・III・IV・V（複数選択可） パラスポーツについて知ろう
2 実施対象者 (学年・人数)	第4学年 42名 第5学年 40名 第6学年 55名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科等名（総合的な学習の時間） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ パラスポーツについて調べたり、アレアスの方の話を聞いたりパラスポーツ体験をしたりして、様々なパラスポーツ種目に関心を持ち、進んでスポーツや目標に向かって取り組む姿勢を育むことができるようにする。</li> <li>・ パラスポーツの体験を通して、体を動かす楽しさを理解し、進んで運動に取り組むことができるようにする。</li> </ul>
5 取組内容	<p>第1次 パラリンピックについて知ろう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「I'm POSSIBLE」を活用して、パラリンピックについて知る。</li> <li>○ パラスポーツ体験で体験する「ボッチャ」・「卓球バレー」・「車いすバスケットボール」について調べる。</li> </ul> <p>第2次 パラスポーツを体験してみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「ボッチャ」・「卓球バレー」・「車いすバスケットボール」を体験したり、アレアス職員の方の話を聞いたりする。</li> </ul>
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>ボッチャ体験</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>卓球バレー体験</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>車いすバスケット体験</p> </div> </div>

	<p>第3次 パラスポーツについてさらに詳しく調べたり、これから自分はどうしていきたいか考えたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分が調べたいパラスポーツについて、調べて発表する。</li> <li>○ 調べたことや友達の発表を聞いて、これから自分はどうしていきたいか、考えをまとめる。</li> </ul>
<p>6 主な成果</p>	<p>パラスポーツ体験後や学習後の感想や、事前・事後アンケートの数値の変化から、本プログラムの成果を分析していく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ パラスポーツは「見る人が楽しくなるようなスポーツ」ではなく、「見る人も選手もどんな人でも楽しめるスポーツ」だと思います。私はもっとパラスポーツのことが知りたくなりました。</li> <li>○ わたしはパラリンピックを作ったことがすごいと思いました。なぜかという、オリンピックだけだと体が不自由な人たちがオリンピックに出られないからです。わたしは、パラリンピックが作られてうれしく思いました。</li> <li>○ わたしは、パラリンピックに出る人たちを尊敬しました。わたしは努力をした人はすごいと思います。これからも、パラリンピックを支援してくれる人たちやパラリンピアンを支えられる人が増えてほしいし、わたしもパラスポーツに関わりたいたいと思いました。</li> <li>○ 私は何か不自由だと何もできないと思っていたのですが、失ったものを数えずに、限界に取り組んでいるパラリンピアンはすごいと思いました。私もすぐにあきらめずに、目標に向かってがんばりたいと思います。</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事前と事後のアンケートを比較すると、特に「パラリンピックへの興味・関心」、「社会や人のために役に立つことをしたい」、「お年寄りや障害のある方と交流してみたい」の数値が、上昇した。</li> <li>○ 学習後の児童の感想の中には、「パラリンピック・パラスポーツに対する興味関心が高まったこと」、「パラリンピックに関わっている人の偉大さ・自分も関わっていききたい」「あきらめずに努力することの大切さ」等の記述が見られ、目標を達成することができたと考える。</li> </ul>
<p>7実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<p>本校は「心のバリアフリー事業」として、近隣の特別支援学校と年間を通して交流を行っている。本年度は新型コロナウイルス感染症予防のため、特別支援学校との交流を行うことができなかったため、パラスポーツ体験の講座を申し込むようにした。これにより、パラスポーツに興味関心をもたせたり、障がいのある人への正しい理解を深めたりすることができたと考える。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>本年度初めて「オリパラ教育」を総合的な学習の時間で取り組んだ。本年度の実践の成果と課題を基に、各学年の系統的な実践内容を決め、次年度に引き継ぐようにしていきたい。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>本年度は、新型コロナウイルス感染症予防のため、「生涯を通じてスポーツに親しむ」という観点での実践があまりできなかった。本校の伝統である「朝の5分間走」や縦割りグループによる「大縄集会」等の取組を充実させたり、体力向上に役立つ各種の運動を紹介したりするなど、本校らしい取組を推進していく。</p>